



2022年2月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年1月12日

上場会社名 株式会社コメダホールディングス 上場取引所 東 名
 コード番号 3543 URL <http://www.komeda-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 臼井 興胤
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 清水 宏樹 TEL 052-936-8880
 四半期報告書提出予定日 2022年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	24,652	16.1	5,847	36.8	5,804	38.9	3,948	38.0	3,943	38.1	3,954	38.0
2021年2月期第3四半期	21,241	△8.2	4,274	△27.6	4,179	△28.3	2,860	△28.5	2,855	△28.7	2,866	△28.4

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2022年2月期第3四半期	85	54	85	33
2021年2月期第3四半期	61	95	61	76

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
2022年2月期第3四半期	96,886	36,595	36,595	36,546	36,546	37.7		
2021年2月期	109,536	34,833	34,833	34,792	34,792	31.8		

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2021年2月期	—	18.00	—	21.00	39.00
2022年2月期	—	25.00	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	—	—	26.00	51.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	32,900	14.2	7,250	31.6	7,100	31.7	4,865	35.1	4,850	35.1	105.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	46,141,800株	2021年2月期	46,117,350株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	22,323株	2021年2月期	7,183株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	46,098,561株	2021年2月期3Q	46,088,712株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料は、2022年1月12日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり利益)	10
(後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、新中期経営計画「VALUES 2025」において掲げた『“くつろぎ”で人と地域と社会をつなぐ』をスローガンに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受けた前年度からの業績回復に加え、既存の事業モデルの拡充、新しい共創価値の追求、財務価値の維持拡大を図ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間における外食産業は、昨年より続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた政府及び各自治体からの営業時間短縮等の要請による影響を受けており、緊急事態宣言が解除された10月以降においても、第6波への懸念が高まるなど引き続き先行きが見通せない状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、地域密着の社会インフラとしての役割を果たすべく、引き続きお客様の安全を第一に感染防止対策を徹底して店舗運営を継続いたしました。特に、ピスタチオや大豆ミートなど話題性のある食材を使用した新商品の投入のほか、テレビ番組やSNS等への露出機会が増加したことにより、多くのお客様にご来店頂くことができました。

この結果、卸売売上は、3月から11月までの累計で既存店売上高前年比が112.7%（前々年比98.4%）、全店売上高前年比が117.3%（前々年比105.5%）となり、コロナ禍の影響を強く受けた前年同期に対して大きく伸長しました。

また、コメダ咖啡店について、東日本や西日本エリアにおける積極出店に加え、中京でも複数出店、台湾においても高雄市まで出店エリアを拡大するなど、新規に41店舗を出店しました。おかげ庵及びBAKERY ADEMOKについては、それぞれ1店舗を出店しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は949店舗となりました。

区分	エリア	前連結会計 年度末	新規出店	閉店	当第3四半期 連結会計期間末
コメダ咖啡店	東日本	274 (22)	18 (2)	1 (－)	291 (21)
	中京	313 (3)	2 (－)	4 (－)	311 (3)
	西日本	294 (7)	12 (2)	1 (－)	305 (9)
	海外	18 (9)	9 (1)	－ (－)	27 (10)
おかげ庵	全国	11 (6)	1 (－)	－ (－)	12 (6)
やわらかシロコッペ BAKERY ADEMOK KOMEDA is □	全国	4 (3)	1 (1)	2 (1)	3 (3)
合計		914 (50)	43 (6)	8 (1)	949 (52)

(注) 1. () 内の数字は直営店舗数であり、内数で記載しております。

2. コメダ咖啡店の東日本エリアにおいて、直営店3店舗をFC化しております。

3. やわらかシロコッペについては、一部のコメダ咖啡店及び短期催事での販売に切り替えております。

以上の取り組みの結果、売上収益は24,652百万円（前年同期比16.1%増）となりました。また、売上収益の回復に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は5,847百万円（前年同期比36.8%増）、税引前四半期利益は5,804百万円（前年同期比38.9%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,943百万円（前年同期比38.1%増）となりました。

また、当社グループは、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献するため、13項目の優先的に取り組むべき重要課題（マテリアリティ）を「品質とお客様」、「人と働きがい」、「環境」、「地域コミュニティ」の4つのテーマに分類し、この分類ごとに当社グループが経済価値の向上と社会課題の解決に貢献すべく、当第3四半期連結累計期間において実施した主な取り組み（太字は2021年9月から11月までの新たな取り組み）は次のとおりです。

品質とお客様に関するテーマ

商品・サービスの安全・安心の追求	安全・安心な食品の生産のため、作業要領書を再整備し、OJTツールとして短編動画を作成
	店舗スタッフが最新の「衛生マニュアル」を随時参照できるよう電子化するとともに、「店舗衛生小テスト」を実施することにより、店舗衛生に関する知識レベルの向上を促進
	沖縄県内の店舗拡大に対応するため、「沖縄コーヒー工場」が生産を開始
多様な消費者ニーズへの対応	10月26日を当社独自の「安全・安心の日」に制定し、過去1年間、製造現場で労災防止と衛生管理において最も貢献した従業員を讃える「まごころ杯」を創設
	季節のシロノワール「フロマージュベリー」「まっしろノワール」「瀬戸内レモン」「杏仁マンゴー」「ぜいたくピスタチオ」「もっと大人ノワール」を発売
	かき氷5種（「ラ・フランス」「ぶどう」「白桃」「宇治抹茶」「いちご」）を発売
	季節のケーキ（「純栗いむ」「洋梨カスタード」「まるっとショコラ」「ふんわりミルクティー」）を発売
	飲むと食べるを1度に味わえる新食感ドリンク「のむクロネージュ」を発売
	食べ応え抜群の「コメ牛」を季節限定キャンペーンにより再発売
	より濃厚でまろやかな味わいへうまさを一新した「自慢のドミグラスバーガー」を発売
	大豆ミートでハムの風味や食感を再現した“まるでお肉”な「大豆ハムカツバーガー」を発売
	KOMEDA is 口東銀座店でアーモンドミルクソフトを使用した「プラントベース シロノワール」を発売
	新宿中村屋様と共同開発したカレーソースを使用したバーガー等をお楽しみ頂ける「カレー祭り」を開催
	コロナ下における「おうちでコメダ」のニーズにお応えするべく、テイクアウトメニューの拡充、デリバリー対応店舗を拡大
	オラム社のアーモンドを使用した「サステナブルなマヌカハニーアーモンド」を発売
	トーヨービバレッジ様とチルドカップ飲料「カカオ香るアイスココア」「フルーツオ・レ」を販売
若年層のお客様へアプローチするために、ビームス様及びウィムジー様とコラボアパレルを発売	
D X準備室を新設し、 お客様の利便性を飛躍的に向上させる新アプリの開発に着手するとともに、店舗スタッフの生産性を向上させるタブレットPOSの導入テストを一部直営店で開始	
幅広く新規のお客様を獲得するために、TBS「坂上&指原のつぶれない店」やテレビ東京「ソレダメ！」などテレビ番組に出演	
個人の時間や空間を大切にするお客様のために、パーソナルブース（個室）設置店舗を開店	
持続可能な消費に関する教育と啓発	サステナビリティ活動を啓発する取り組みを紹介した社内報を国内の店舗・工場等事業所へ配信
	あらゆるお客様にくつろいでいただけるよう社員向けに盲導犬研修やLGBT研修を実施
	名古屋市内の小学校にて「名古屋の喫茶店文化とおもてなし」についての食育授業を実施

人と働きがいに関するテーマ

人財の確保と成長を支える環境整備	キッチンスタッフのモチベーション及びスキル向上のため「オペレーションコンテスト」を開催
	コロナ下においても接客研修を推進するため「コメダ流おもてなし動画」を店舗向けに配信
	コメダ流おもてなしの頂点を選ぶ「接客コンテスト2021」全国大会のファイナリストを選出
多様な人財の活性化	「ダイバーシティ推進プロジェクト」の一環として女性管理職育成プログラムを実施
	障がいをお持ちのアーティストによる菓子パッケージのデザインをリニューアル
良好な雇用関係と適正な労働条件	働き方改革の一環として、コアタイムが無い完全フレックスタイム制を導入
	FC加盟店様のスタッフに対しても満足度調査を実施

環境に関するテーマ

廃棄物削減と資源循環の推進	アイスコーヒーの容器変更により大量の紙ごみを削減
	リサイクル素材を使用したトートバッグとポーチが入った「サマーバッグ2021」を発売
	一部店舗でバイオマス入りの持ち帰り用スプーン及びフォークの使用を開始
気候変動への対応	「コメダの森」の規模を拡大し、コメダ部の皆様やFC加盟店様と一緒に森林保全活動を実施
	コメダ珈琲店三鷹上連雀店、鎌倉小町店、カインズ木更津金田店、日野多摩平店の計4店舗に再生可能エネルギーを導入 持続可能なコーヒー生産を支援するため、「Imperfect表参道」様店舗内に開設した期間限定のポップアップストアや全国のコメダ珈琲店でお客様参加型の「くつろぎの持続化投票」をスタート

地域コミュニティに関するテーマ

コミュニティへの参画と投資	コメダ珈琲店を国内で新規に32店舗、海外では台湾において高雄市を含んで9店舗出店
	信用金庫と全国初のコラボ店舗となるコメダ珈琲店東濃信用金庫土岐中央店を開店
	世界の洋食器ブランド「ノリタケ」様本社工場跡地にコメダ珈琲店則武新町店を開店
	旧東海銀行本店ビル（現三菱UFJ銀行名古屋ビル）に栄地区初の、おかげ庵栄広小路店を開店
	BAKERY ADEMOK南風原店のサテライト店舗として、BAKERY ADEMOKスタンド糸満店を開店
	地元に貢献し「地域密着店舗」の模範となる店舗に贈る「地元に貢献したで賞」の表彰を実施
	子ども食堂、学童保育へ食材を寄贈
	一宮市の修文女子高校様と地元食材を使用した特別メニューを共同開発し、地元の百貨店で販売
	コメダ珈琲店ファンのおうち時間充実応援のため「コメダ パンアレンジコンテスト2021」を開催
	ゲーム「あつまれ どうぶつの森」でオンラインイベント「コメダ島ぎゅうぎゅう夏祭り2021」を開催
地域限定モーニング「青森県産・長野県産紅玉りんごジャム」「三重県産カラマンダリンジャム」「広島県産せとかマーマレード」「静岡県産ニューサマーオレンジジャム」「山梨県産白桃とすももジャム」「宮城県産ブルーベリージャム」「佐賀県産ゴールドンキウイジャム」を発売	

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりです。

流動資産は、その他の金融資産の減少等により前連結会計年度末に比べ13,043百万円減少し、14,895百万円となりました。非流動資産は、有形固定資産の増加等により前連結会計年度末に比べ393百万円増加し、81,991百万円となりました。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ12,650百万円減少し、96,886百万円となりました。

また、流動負債は、借入金の減少等により前連結会計年度末に比べ12,631百万円減少し、11,140百万円となりました。非流動負債は、借入金の減少等により前連結会計年度末に比べ1,781百万円減少し、49,151百万円となりました。その結果、負債は、前連結会計年度末と比べ14,412百万円減少し、60,291百万円となりました。

資本は、前連結会計年度末に比べ1,762百万円増加し、36,595百万円となりました。これは主に、四半期利益を3,948百万円計上した一方で、剰余金の配当2,121百万円を実施したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3,365百万円減少し、3,936百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は5,294百万円（前年同期比2,179百万円減）となりました。これは主に税引前四半期利益5,804百万円（前年同期比1,625百万円増）を計上した一方で、法人所得税等について、前連結会計年度において納税猶予制度を利用したことによる2020年2月期に係る法人所得税等を含めて3,355百万円（前年同期比3,052百万円増）の納税を行ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による収入は8,018百万円（前年同期は11,162百万円の支出）となりました。これは主に定期預金の純減9,000百万円（前年同期は10,000百万円の支出）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による支出は16,701百万円（前年同期は3,500百万円の収入）となりました。これは借入金の返済による支出12,035百万円（前年同期比9,683百万円増）及びリース負債の返済2,523百万円（前年同期比217百万円増）、親会社の所有者への配当金の支払額2,054百万円（前年同期比75百万円増）、自己株式の取得による支出100百万円（前年同期比100百万円増）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想につきましては、2021年4月14日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	7,301	3,936
営業債権及びその他の債権	5,195	5,176
その他の金融資産	14,128	5,138
たな卸資産	317	250
その他の流動資産	997	395
流動資産合計	27,938	14,895
非流動資産		
有形固定資産	12,819	13,508
のれん	38,354	38,354
その他の無形資産	217	264
営業債権及びその他の債権	26,473	26,180
その他の金融資産	3,206	3,269
繰延税金資産	325	244
その他の非流動資産	204	172
非流動資産合計	81,598	81,991
資産合計	109,536	96,886
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	1,488	1,691
借入金	12,705	2,369
リース負債	3,056	3,328
未払法人所得税	2,652	1,064
その他の金融負債	1,955	1,649
その他の流動負債	1,915	1,039
流動負債合計	23,771	11,140
非流動負債		
借入金	14,861	13,176
リース負債	29,335	29,035
その他の金融負債	6,057	6,235
引当金	308	349
その他の非流動負債	371	356
非流動負債合計	50,932	49,151
負債合計	74,703	60,291
資本		
資本金	625	631
資本剰余金	13,127	13,086
利益剰余金	21,057	22,879
自己株式	△17	△53
その他の資本の構成要素	△0	3
親会社の所有者に帰属する持分合計	34,792	36,546
非支配持分	41	49
資本合計	34,833	36,595
負債及び資本合計	109,536	96,886

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上収益	21,241	24,652
売上原価	△13,534	△15,688
売上総利益	7,707	8,964
その他の営業収益	224	416
販売費及び一般管理費	△3,263	△3,529
その他の営業費用	△394	△4
営業利益	4,274	5,847
金融収益	14	39
金融費用	△109	△82
税引前四半期利益	4,179	5,804
法人所得税費用	△1,319	△1,856
四半期利益	2,860	3,948
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,855	3,943
非支配持分	5	5
四半期利益	2,860	3,948
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	61.95	85.54
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	61.76	85.33

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期利益	2,860	3,948
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	0	6
キャッシュ・フロー・ヘッジ	6	—
税引後その他の包括利益	6	6
四半期包括利益	2,866	3,954
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,861	3,946
非支配持分	5	8
四半期包括利益	2,866	3,954

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本 の構成要素	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	非支配持分	資本合計
2020年3月1日残高	613	13,096	19,495	△10	△8	33,186	27	33,213
四半期利益			2,855			2,855	5	2,860
その他の包括利益					6	6	0	6
四半期包括利益合計	—	—	2,855	—	6	2,861	5	2,866
新株予約権の行使	5	3				8		8
株式報酬取引		12				12		12
配当金			△2,028			△2,028		△2,028
自己株式の取得		6		△6		△0		△0
所有者との取引額合計	5	21	△2,028	△6	—	△2,008	—	△2,008
2020年11月30日残高	618	13,117	20,322	△16	△2	34,039	32	34,071

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本 の構成要素	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	非支配持分	資本合計
2021年3月1日残高	625	13,127	21,057	△17	△0	34,792	41	34,833
四半期利益			3,943			3,943	5	3,948
その他の包括利益					3	3	3	6
四半期包括利益合計	—	—	3,943	—	3	3,946	8	3,954
新株予約権の行使	6	5				11		11
株式報酬取引		18				18		18
配当金			△2,121			△2,121		△2,121
自己株式の取得		1		△101		△100		△100
自己株式の処分		△65		65		—		—
所有者との取引額合計	6	△41	△2,121	△36	—	△2,192	—	△2,192
2021年11月30日残高	631	13,086	22,879	△53	3	36,546	49	36,595

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,179	5,804
減価償却費及び償却費	1,055	1,207
金融収益	△14	△39
金融費用	109	82
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	621	357
差入保証金及び建設協力金の増減額 (△は増加)	△93	△50
その他の金融資産の増減額 (△は増加)	△10	△2
営業債務の増減額 (△は減少)	△93	198
預り保証金及び建設協力金の増減額 (△は減少)	△17	100
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	1,170	1,176
その他	386	△696
小計	7,293	8,137
利息の受取額	6	2
利息の支払額	△56	△58
法人所得税の支払額	△303	△3,355
法人所得税の還付額	533	568
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,473	5,294
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減 (△は増加)	△10,000	9,000
有形固定資産の取得による支出	△1,027	△931
無形資産の取得による支出	△113	△51
その他	△22	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,162	8,018
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入による収入	10,130	—
借入金の返済による支出	△2,352	△12,035
リース負債の返済による支出	△2,306	△2,523
株式の発行による収入	7	11
自己株式の取得による支出	—	△100
親会社の所有者への配当金の支払額	△1,979	△2,054
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,500	△16,701
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	24
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△199	△3,365
現金及び現金同等物の期首残高	6,609	7,301
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,410	3,936

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、喫茶店のF C事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり利益)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益 (百万円)	2,855	3,943
発行済普通株式の期中加重平均普通株式数 (株)	46,088,712	46,098,561
希薄化効果のある株式数 ストック・オプション	136,403	114,884
希薄化効果調整後の期中加重平均普通株式数 (株)	46,225,115	46,213,445
基本的1株当たり四半期利益 (円)	61.95	85.54
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	61.76	85.33

(後発事象)

該当事項はありません。